

⑦ 市町災害復旧支援制度 (D-SUPPORT)の構築



授賞機関 公益財団法人 兵庫県まちづくり技術センター

キーワード 被災市町支援、災害査定、シームレス

全建賞審査委員会の評価ポイント

大規模災害時に市町単独では円滑な災害対応が困難な場合に、(公財)兵庫県まちづくり技術センターの職員で構成する派遣隊が他団体とも連携して被災市町を支援する制度の構築。初期対応から災害査定に至るまで、シームレスに支援を行うものであり、被災地に寄り添った制度として他の自治体の参考にもなり得る点が評価された。

1. はじめに

大規模災害時に県内の市町では、住民対応に多くの労力が割かれるとともに、技術職員不足等も相まって、応急復旧に向けた迅速な初動対応や災害査定実務の円滑な実施等が困難な場合がある。

このような状況を踏まえて、公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター^{*1} (以下、「技術センター」という。)では、平成30年7月豪雨をはじめとする数々の経験と教訓を活かし、令和元年度に新たに「市町災害復旧支援制度 (D-SUPPORT)」を構築した。

2. 事業の概要

災害復旧への迅速な対応が求められる初動期において、技術センター職員と県OB職員 (兵庫県防災エキスパート^{*2}) から構成される初動対応支援チームを組織し、市町の被災状況把握、災害調査の実施、復旧方針のアドバイス等を無償で行う。

さらに、市町からの要請に応じ、測量・地質調査業者等への技術指導、災害査定設計書作成、災害査定時説明への助言等も行い、災害査定実務を初動対応から災害査定に至るまで総合的に支援する。



市町災害復旧支援制度 (D-SUPPORT)の流れ

3. 事業の成果

D-SUPPORT創設の契機となった平成30年7月豪雨災害での宍粟市支援では、発災直後に現地入りした初動対応支援チームが、国土交通省のTEC-FORCEと担当する地域を分担し、49件の災害調査報告、応急対策や復旧工法に係る技術的な助言等の初動対応支援を行った。さらに、市内全域の被災箇所について、8月上旬から10月中旬までの間に、測量・地質調査業者等への技術指導や98件の災害査定設計書作成、査定の立会や訂正対応等を行った。

初動対応から災害査定に至るまで、切れ目のない支援により、迅速かつ的確な災害査定の実施、災害復旧工事の早期着手に大きく貢献できた。



災害査定支援の状況 (平成30年7月豪雨災害、宍粟市)

4. おわりに

技術センターでは、被災市町の初動対応から災害査定実務までを総合的に支援するD-SUPPORTの構築に加え、県・市町職員及び民間技術者を対象とした研修会を開催している。特に、市町職員の災害対応力の向上を支援するため、被災した現場において、職員自らが被災のメカニズムや復旧工法を考え、説明するといった実践的な研修にも取り組んでいる。

今後も引き続き、技術センターが培ってきた技術力と技術者育成のノウハウを活かしながら、市町の災害復旧を総合的に支援し、県民の安全・安心を確保していく。

※1 (公財)兵庫県まちづくり技術センター

兵庫県及び県下全市町から出捐を受けている公益財団法人で、県・市町等に対して、「建設事業支援」「上下水道支援」「まちづくり支援」「埋蔵文化財調査」「技術情報提供・技術者育成」を行っている。

※2 兵庫県防災エキスパート

公共土木施設の整備や管理に携わった県・市町職員のOBが、経験とノウハウを活かし、ボランティアとして災害復旧に係る支援活動等を行う。技術センターは事務局として運営を担っている。